

## 校長講話(3学期始業式)

- ・ 生徒の皆さん、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
- ・ 元旦の夕刻に発生した能登半島地震についてのお話をします。大阪でもかなり揺れた地域もあったようです。13年前の東日本大震災の時も、かなり遠方ではありましたが、大阪でも実際に揺れを感じました。
- ・ 自然災害の中でも「地震は、いつ・どこで起こるか分からない」ことを私たちは常に意識しておく必要があります。
- ・ 29年前の阪神淡路大震災は朝の5時46分に発生したので、多くの人はまだ寝ている時であったことから、家具の下敷きとなり、逃げだせなくなり犠牲となった方も多くいました。
- ・ このような機会があるたびに皆さんに伝えていますが、寝室に倒れてくるような家具などありませんか。飛んできそうな物(テレビのような電化製品など)は置いていませんか。
- ・ 今回の能登半島地震は、元旦の日に発生していることから、帰省や旅行で出かけている先で被害にあった方も多くいたようです。
- ・ 今、住んでいる場所は大丈夫でも、いつ・どこで地震が発生するのか分からないことから、防災・減災の知識を身につけ、自分のいのち・他者のいのちを守ることはとても大切なことです。
- ・ いのちを守るということから言えば、1月2日の飛行機事故で、地震災害による物資の輸送途中であった海上保安庁の方々が亡くなられたことは非常に残念なことではありましたが、
- ・ 日本航空機の乗客・乗務員全員が無事に脱出できたことは、日頃からの訓練により、乗務員の方々の適切な避難誘導と、慌てずその指示に従って行動できた乗客の方の冷静な判断があったからだと思います。
- ・ 1月26日に地震災害を中心にした『防災教室』を各学年で取り組みますが、その打合せを1月5日に区役所・消防署の担当者の方々とさせていただきました。
- ・ その際も、航空機から350名を超える乗客の避難を10数分で行えたことは奇跡的であることと同時に、日頃からの訓練のよるものであると言っておられました。
- ・ 今年も、皆さんにとって安全で安心な生活が送れる年であることを心より願っています。